

(案)

令和元年度 越前市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和2年5月

越前市（福井県）

○計画期間:平成28年12月～令和4年3月(5年4月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和元年度終了時点(令和2年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市においては、平成28年11月29日に第3期中心市街地活性化基本計画の認定を受け、郊外に北陸新幹線南越駅（仮称）が開業する前の令和4年3月までの計画期間を中心市街地活性化の正念場として、①「まちの顔づくり」、②「暮らしの再生」、③「にぎわいの再生」の3つのテーマに沿った多様な施策を推進している。

「まちの顔づくり」

令和元年度は、11月の新庁舎完成に伴い、市民利用機能を備えたスペースである生涯学習センター（新庁舎市民交流スペース）が完成した。また、新たな市民活動の拠点となる「市民プラザたけふ」の整備も同じく11月に完了するなど、中心市街地において市民が交流する拠点整備が大きく前進した年となった。

特に「市民プラザたけふ」については、貸館スペース等が減少した福祉健康センターの機能を十分に補完する利用があり、子育て支援機能である「てんぐちゃん広場」の利用も多く、また、今までには見られなかった学生の姿も見られるなど、整備効果が着実に表れている。

また、武生中央公園「だるまちゃん広場」並びに「越前市AW-Iスポーツアリーナ」は、市内外からの年々多くの人々が訪れ、更なるにぎわいを見せている。令和元年度は武生中央公園での積極的なイベントの開催など、より一層の魅力向上を図った。

来年度以降は、本格稼働が始まった生涯学習センターの積極的な利用周知を図るとともに、令和3年度に向け、新庁舎南側を市民活動ができる広場（庁舎前ひろば）として整備し、更なる中心市街地のにぎわいを創出していく。

① 「暮らしの再生」

中心市街地の人口減少は依然として続いており、新婚世帯の定住化支援事業が伸び悩むなど、新規居住者という点においてはより一層の事業推進が必要であるが、一方では、まちづくり武生（株）との連携等により、空き家等リフォーム支援事業の利用が目標値を大きく上回る成果を得ており、既居住者を含め、中心市街地に定住したいという若い世代が増えてきている。また、まちなか共同住宅整備については、工務店等との連携の成果が出てきており、今後も直接企業や工務店等に補助制度の周知を図り中心市街地での定住に繋げていく。

② 「にぎわいの再生」

まちづくり武生（株）が行っているエリアリノベーションにより、空き家・空き店舗の多い地域に新規店舗が増えている。また、ホテルの進出や新庁舎等の完成の影響もあり、駅前や市役所周辺エリアの魅力や価値が高まり、出店需要につながっている。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 地域)	平成27年度 (計画前年度)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)	令和元年度 (4年目)	令和2年度 (5年目)	令和3年度 (6年目)
人口	5,682	5,478	5,447	5,307		
人口増減数	△80	△99	△31	△140		
自然増減数	△99	△56	△94	△96		
社会増減数	19	△43	63	△44		
転入者数	225	178	197	175		

2. 令和元年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

基本計画の進捗については、目標指標である「まちの顔づくり」「暮らしの再生」「にぎわいの再生」に向けた目標数値は達成されている。なお、「まちの顔づくり」については、越前市(武生)の伝統的な街並みの雰囲気を活かしていくことが必要である。また、「暮らしの再生」における住宅施設については、今後もまちなか定住へ繋げていくためにも、空き家・空き室など既存ストックの確保・利活用の推進が必要である。

5年目を迎えるまちづくり武生(株)では、中心市街地活性化エリア内での「賑わい創出」「商業振興」「まちなか居住促進」を事業の柱に取組みが進められており、中心市街地にある廃業した店舗の再生に取り組んでいる。

また、商工会議所や市内金融機関との連携のもと、新店舗の開業や、まちなか出店が具体的に進んでおり、今後、更なる事業推進を図るために、各種支援制度が有効に活用されるよう積極的広報PRが大切である。

以上により、令和元年度の基本計画は概ね順調に推移しているものと評価する。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 (4月1日確定)	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちの顔づくり	市民交流施設の利用者数	64,541人 (H27)	77,420人 (R3)	65,204人 (R1)	B	①	①
暮らしの再生	施策による移住者数	64人増 (H27)	累計400人増 (H28～R3) 66.7人/年	累計297人 (R1) 74.2人/年	B	①	①
にぎわいの再生	活性化に寄与する市民活動の回数	56回 (H27)	92回 (R3)	106回 (R1)	A	①	①
	施策によるまちなか開業件数	5件 (H27)	累計24件 (H28～R3) 4件/年	累計23件 (R1) 5.7件/年	B	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成 B：基準値達成 C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

【市民交流施設の利用者数について】

令和元年11月には、新庁舎の市民利用機能部分である「新庁舎市民交流スペース（生涯学習センター）」及び「市民プラザたけふ」が完成し、市民活動の新たな拠点として、また新たな市民の集いの場として、多くの利用があり、基準値を達成することができた。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設利用数が減少することが考えられるが、事態の終息後は、令和元年度約3か月の稼働であった生涯学習センターと、約5か月の稼働であった市民プラザたけふについて、令和元年度の利用実績からも、年間を通じた稼働により目標値を達成できる利用者数が十分に見込めることから、積極的に施設利用をPRしていくことで、目標値を達成できる見通しである。

【施策による移住者数】

まちづくり武生(株)や工務店等との連携を進めた結果、空き家等リフォーム支援やまちなか共同住宅整備では目標値を大きく上回る成果が出ている一方、新婚夫婦の定住化支援等では、まちなか区域での件数が伸び悩んでいる。

令和2年度以降は、住宅取得の支援制度について、新婚世帯等の加算や条件緩和を行うことで訴求力を高めるとともに、各種支援制度の周知やPRを強化することで、目標達成は可能と見込まれる。

【活性化に寄与する市民活動の回数】

新たな越前市の顔となった武生中央公園内の「だるまちゃん広場」が多くの人に認知され

たことにより、武生中央公園でのイベントが増加するとともに、まちづくり武生㈱によるまちなかイベントサポート事業をはじめとした取組みにより、まちなか周辺において官民連携によるイベントが増加するなど、令和元年度においても目標を達成した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベント総数が減少することが考えられるが、事態の終息後は、だるまちゃん広場でのイベント開催に加え、本格的に稼働する「新庁舎市民交流スペース」及び「市民プラザたけふ」について、各種団体や市民に積極的な利用を働きかけることで、目標は達成できるものと見込んでいる。

【施策によるまちなか開業件数】

令和元年度におけるまちなかでの開業は、京町界限など新たなエリアでの出店が多く、特に古い建物を活かした飲食店の開業が目立つことから、まちづくり武生㈱が行ってきたエリアリノベーションの効果が現れており、基準値の達成に繋がったものと認識している。

令和2年度も既に数店舗が開業を予定していることから、今後も引き続き、まちづくり武生㈱と市が連携を深め、営業活動を行っていくことにより、目標は達成できるものと見込んでいる。

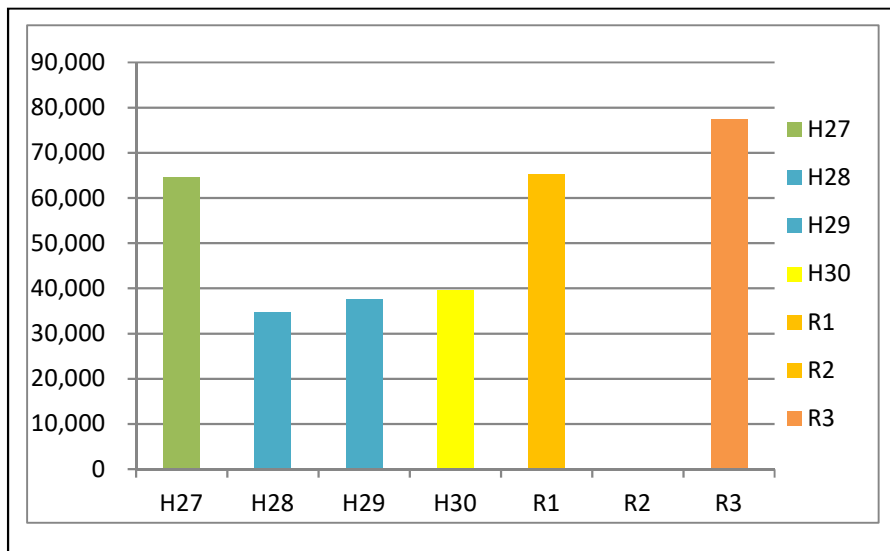
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップと変更なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「市民交流施設の利用者数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P70～P72 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H27	64,541 (基準年値)
H28	34,709
H29	37,686
H30	39,477
R1	65,204
R2	
R3	77,420 (目標値)

※調査方法：市民交流施設の年間利用者を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：市民交流施設（生涯学習センター、福祉健康センター、市民プラザたけふ）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新庁舎建設事業 (越前市)

事業実施期間	平成27年度～令和2年度【実施中】
事業概要	本庁舎内に、市民利用機能として、多目的ホールや控室、和室、調理室、視聴覚室などの生涯学習施設を中心に、約1,700㎡の屋内交流施設を整備する。施設の屋外には、雨天時でも利用可能な大屋根を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(武生北部地区))(国土交通省)(平成28年度～平成30年度) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(本庁舎周辺地区))(国土交通省)(令和元年度～令和2年度)
事業効果及び進捗状況	新庁舎は令和元年度中に完成し、新庁舎内の「新庁舎市民交流スペース(生涯学習センター)」も本格的に稼働しており、市民活動等での利用が進んでいる。
事業の今後について	令和2年度中には、庁舎前ひろばが完成することから、施設を活用した市民交流や市民活動が更に展開され、中心市街地の活性化が図られることが期待される。

② (仮称)市民センター整備事業 (越前市)

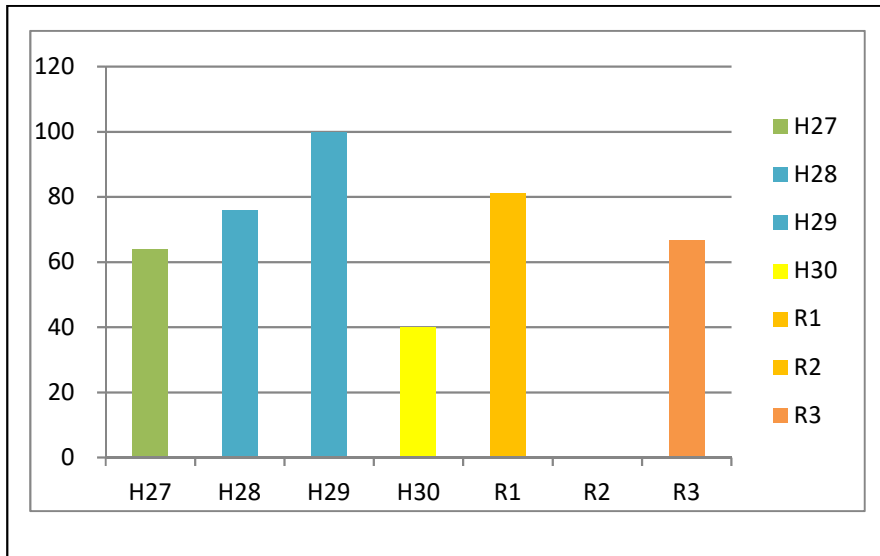
事業実施期間	平成30年度～令和元年度【済】
事業概要	ゾーニング改修に対する費用の一部補助
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(本庁舎周辺地区))(国土交通省)(平成30年度～令和元年度)
事業効果及び進捗状況	令和元年度に整備が完了し、既に市民活動の拠点として利用が進んでいる。また、子育て支援センターとしての機能を拡充したことから、まちなかに子育て世帯が集うこととなり、新たなにぎわいを創出している。
事業の今後について	これらの施設を今後も市民とともに協働で活用し、官民が連携して活性化を推進していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響は懸念されるものの、取組みの進捗状況は順調であり、事態が終息に向かえば、最終的に目標は達成可能と見込まれる。令和元年度に完成した、新庁舎の市民利用機能部分である「新庁舎市民交流スペース(生涯学習センター)」及び「市民プラザたけふ」の利用を推進するとともに、新しいイベント誘致を市民団体等に働きかけていくことで、更なるにぎわいづくりを目指していく。

「施策による移住者数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P73～P74 参照

●調査結果の推移



年	(単位: 人)
H27	64 (基準年値)
H28	76
H29	100
H30	40
R1	81
R2	
R3	66.7/年 累計 400 (目標値)

※調査方法: 住宅施策の被支援者数を集計

※調査月: 3月末

※調査主体: 越前市

※調査対象: 新婚夫婦定住化支援事業、まちなか住宅取得推進事業、まちなか共同住宅整備促進事業、空き家等リフォーム支援事業、多世帯同居・近居住まい推進事業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新婚夫婦定住化支援事業 (越前市)

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	婚姻1年以内の新婚夫婦が中心市街地に居住するか、夫婦いずれかが転入して市内の民間賃貸住宅に居住する場合に、家賃の一部を補助。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(武生北部地区))(国土交通省)(平成28年度～平成29年度)
事業効果及び進捗状況	県内事業者へ制度周知を行った結果、市内全体で63件、うち1件は中心市街地活性化区域内の申請であった。
事業の今後について	引き続き制度周知を行い、まちなかでの居住数増加を図る。

② まちなか住宅取得推進事業 (越前市)

事業実施期間	平成27年度～令和元年度【済】
事業概要	住宅を取得する場合、その取得費の一部を補助。
国の支援措置名及び支援期間	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(武生北部地区))(国土交通省)(平成28年度～平成29年度) 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(本庁舎周辺地区)と一体的に実施する効果促進事業)(国土交通省)(平成30年度～令和元年度)

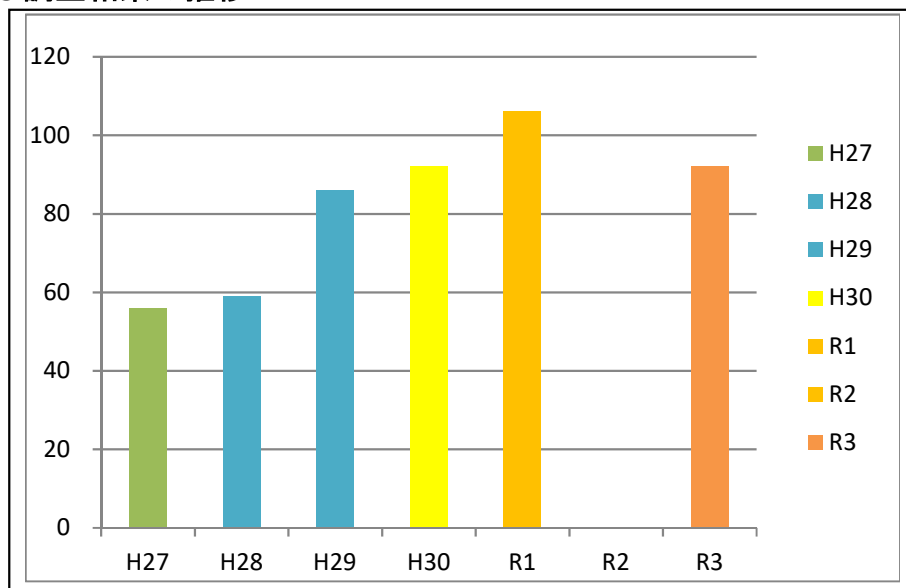
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地活性化区域内において、6件の申請であった。
事業の今後について	交付金が令和元年度で終了となったことから、当該事業は廃止するとともに、新住宅取得推進事業にまちなか居住の加算項目を設けて対応する。
③ まちなか共同住宅整備推進事業（越前市）	
事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	共同住宅を整備するものに対し、その整備費の一部及び既存建物の解体費を補助。
国の支援措置名及び支援期間	・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（武生北部地区））（国土交通省）（平成28年度～平成29年度） ・社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（本庁舎周辺地区）と一体的に実施する効果促進事業）（国土交通省）（平成30年度～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地活性化区域内において、9戸の住宅供給につながった。
事業の今後について	引き続き制度周知を行い、まちなかでの共同住宅数増加を図る。
④ 空き家等リフォーム支援事業（越前市）	
事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	譲渡又は賃貸借を目的に空き家等をリフォームする場合に、その費用の一部を補助。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（武生北部地区））（国土交通省）（平成28年度～平成29年度）
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地活性化区域内において、13戸の住宅供給につながった。
事業の今後について	引き続き制度周知を行い、まちなか空き家の利活用を促進する。
⑤ 多世帯同居・近居住まい推進事業（越前市）	
事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	世帯が一つ以上増加するために住宅をリフォームする場合又は直系親族の居住する住宅の近くに住宅を取得する場合に、その費用の一部を補助。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省）（平成28年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	県内事業者等に制度周知を行った結果、中心市街地活性化区域内において、1件の申請があった。
事業の今後について	引き続き制度周知を行い、まちなかでの居住数増加を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響は懸念されるものの、目標達成に向け、共同住宅の整備は重要であることから、今後も引き続き、まちづくり会社等と空き地の情報を共有し、土地所有者や関係する工務店等への積極的なアプローチを行うとともに、事業者の発掘に努める。特に、問合せがあった案件は具体的なスケジュールや意思確認を行い、着実な実現に結び付ける。他の住宅施策と合わせて制度の周知やPRに努め、支援を継続していく。

「活性化に寄与する市民活動の回数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P75 参照

●調査結果の推移



年	(単位：回)
H27	56 (基準年値)
H28	59
H29	86
H30	92
R1	106
R2	
R3	92 (目標値)

※調査方法：まちなかイベントサポート事業等、活性化に寄与するイベント回数を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：まちなかイベントサポート事業、寺社おこし事業、都市公園等利用促進イベント支援事業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. まちなかイベントサポート事業（まちづくり武生（株））

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	蔵の辻を中心とするまちなかで実施するイベントのサポート イベント情報の収集、発信、調整
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	武生まちなか情報サイト「武ナビ」を通じ、近況のイベントや飲食店 情報を配信することにより、にぎわいの創出に寄与することができ た。
事業の今後につ いて	今後も蔵の辻や武生中央公園を中心とする中心市街地で開催される イベント等を支援していく。

②. 寺社おこし事業（まちづくり武生（株））

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	地域資源である寺社を有効に活用して、中心市街地のにぎわいを図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	寺社への働き掛けは行っているが、事業への賛同が得られず、令和元年度については、新規事業の実施ができなかった。
事業の今後について	令和2年度については、創立550年を迎える寺院に協力を依頼し、関連した名宝の特別展示を行うとともに、寺院でのお茶体験を組み合わせた企画を検討するなどの新規事業を予定している。

③. 都市公園等利用促進イベント支援事業（越前市）

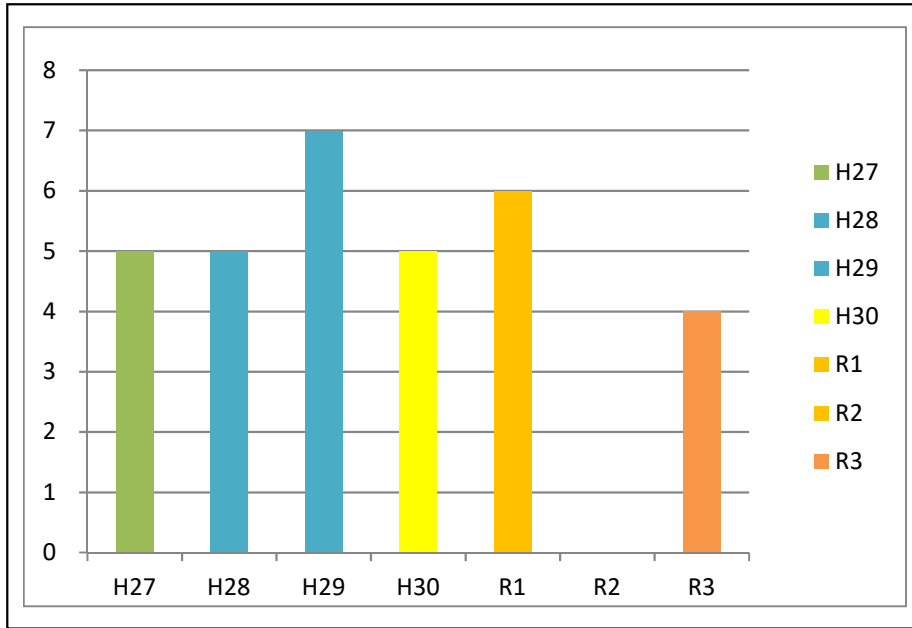
事業実施期間	平成26年度～【実施中】
事業概要	都市公園等の利用促進を図るため、開催するイベントに助成金を交付する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度については3件の申請があり、8回のイベントが行われている。中には年間の代表的なイベントとして定着したイベントもあり、一定の効果が見られている。
事業の今後について	新規イベントの申請が伸びていないため、団体等への更なる周知を行うとともに、制度自体をより使いやすいものにするなど、検討を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

取組みの進捗状況は順調であり、目標値を達成できている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響は懸念されるものの、事態の終息後は、積極的に、蔵の辻を中心としたイベントに対し、支援を行っていく。また、新たな活動拠点となった「新庁舎市民交流スペース（生涯学習センター）」及び「市民プラザたけふ」の利用促進を図るとともに、多くの利用者が訪れている武生中央公園内の「だるまちゃん広場」での市民交流を積極的に働きかけていくことで目標は達成できる見込みである。

●調査結果の推移



年	(単位：件)
H27	5 (基準年値)
H28	5
H29	7
H30	5
R1	6
R2	
R3	4/年 累計 24 (目標値)

※調査方法：重点エリア商業活性化補助金、まちなか出店・改装促進支援事業、まちなか開業支援事業、空き店舗等活用事業等による開業件数を集計

※調査月：3月末

※調査主体：越前市

※調査対象：地元商店街、まちづくり会社等の民間事業者が主体となり策定した「商店街活性化プラン」に基づき、まちなか開業支援事業、空き店舗等活用事業等を活用して開業した店舗

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① まちなか出店・改装促進支援事業 (まちづくり武生(株))

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において店舗等を開設、改装する場合に助成金を交付
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度は当助成事業を活用し、エリア内に新たに5店舗が開業した。また、当制度を活用し、翌年度に新規開業を予定している店舗等も3件ある。
事業の今後について	引き続き当事業により店舗等の内装、外装に関する設備投資に対し助成することにより、新規開業店等の支援を継続する。

② 重点エリア商業活性化事業 (越前市)

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【実施中】
事業概要	中心市街地内にさらに対象となるエリア、業種を絞り、店舗新築・店舗改修に対する補助を行う。
国の支援措置名	国の支援措置なし

及び支援期間	
事業効果及び進捗状況	令和元年度は当事業を活用し、新たに1店舗が開業した。また、当年度に店舗改修を行い、翌年度初めに開業予定となる店舗が1店舗ある。
事業の今後について	引き続き当事業により店舗等の内装、外装に関する設備投資に対し助成することにより、新規開業店等の支援を継続する。
③ まちなか開業支援事業（まちづくり武生（株））	
事業実施期間	平成27年度～令和元年度【済】
事業概要	中心市街地における開業に助成金を交付
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成29年度～令和元年度）
事業効果及び進捗状況	平成29年度からは①の出店・改装促進支援事業に一体化したため、新規認定は終了している。令和元年度は旧制度の3年目2件の支援を行った。
事業の今後について	新規認定は終了しているため、今年度をもって制度終了となった。
④ 空き店舗等活用事業（まちづくり武生（株））	
事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において空き店舗の業種検討と誘致活動
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	令和元年度においては、30件の相談があり、まちなかでの出店に繋がるとともに、資金面の相談や、他支援制度等の紹介など出店希望者への総合的な相談受付を行った。
事業の今後について	引き続き当事業を継続し、まちなかへの新規出店者誘致を図る。
<p>●目標達成の見通し及び今後の対策</p> <p>これまでの成果として、新たな店舗が増えてきたことでエリア全体の価値が上がり、出店需要も高まってきていることから、取組みの進捗状況は順調であり、目標は達成できるものと見込んでいる。今後、さらなるエリアのにぎわい創出のため、引き続き制度を周知していくとともに、まちづくり武生（株）との連携を強化し、新規開業への支援を継続していく。</p>	